

第38回

ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集

全国優秀賞
山形県知事賞
図画3部

「実のり感謝して」

山形市立金井中学校2年
平間 杏奈さん



平成26年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部



◆ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会会長 長 澤 豊…………… 1

◆作文・図画コンクール入賞一覧…………… 2

◆図画部門

図画 1 部／山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 3

図画 2 部／山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 4

図画 3 部／全国優秀賞・山形県知事賞
山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 5

◆作文部門

作文 1 部／山形県知事賞…………… 6
山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 7

作文 2 部／山形県知事賞…………… 8
山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 9

作文 3 部／全国優秀賞・山形県知事賞…………… 11
山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 13

◆審査講評…………… 15

作文部門審査講評 山形市立第五小学校校長 田中 淳

図画部門審査講評 山形市立南山形小学校校長 田中 利幸

◆第27回～第38回 入賞一覧…………… 17

◆審査経過の概要…………… 19



ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会

会長 長澤

豊

第三十八回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さんに、心からお礼申し上げます。また、入賞された皆さん、誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。

私たちJAGグループは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を育んできた稲作農業、ごはん食と健康の結びつきを見直してもらうため、昭和五十一年度からこのコンクールを実施しており、今年度で三十八回目を迎えます。

今回は、県内の小・中学校から作文二八九点、図画八四一点もの力作を応募いただき、全国コンクールに推薦するとともに、県コンクールにおいては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。全国コンクールでは、作文部門・図画部門の両部門で優秀賞を受賞する成績を収めました。これもご指導いただきました学校の先生方をはじめ、ご父兄の皆様、審査委員の先生方、そして山形県ならびに各JAGのご支援・ご理解の賜と心から感謝申し上げます。

今回応募いただいた作品は、家族と農作業の様子や、収穫し食べる喜びをいきいきと表現したものなど、個性豊かですばらしいものばかりでした。ごはん食や農業の果たす役割の大きさやありがたさが素直に表現されておりました。心に響く作品が多く、日本人の生活とお米は、深く結びついていると改めて実感したところです。

どうか皆さん、普段何気なくごはんを食べることが出来る幸せを忘れないでください。お米を作る苦労や努力を感じ、感謝の気持ちをお返ししてください。そして、自然や生き物すべての命を大切にすることを、いつまでも持ち続けてください。

さて、日本は、世界中の国々と貿易をおこない、食料の多くを外国から輸入しています。食料自給率は三九%と、先進国の中では最低の水準にあります。世界的には、人口の増加により食料が足りなくなることが心配されており、それぞれの国が食料自給率を向上させることが大事なことで考えています。

今、太平洋を囲む地域の国々が、関税をなくし自由な貿易をすることなどについて話し合いをしています。関税がなくなれば、広大な農地をもつ国々の輸入農産物により、田畑の荒廃、食料自給率低下などの農業への影響だけでなく、国民の生活にも大変な影響を与えることとなります。JAGグループは、わが国の食料・農業・農村を守るための運動に、消費者・商業・医療など各分野の団体と一緒に取り組んでいます。

また私たちJAGグループは、消費者の皆さんと一緒に、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを考え行動する「みんなのよい食プロジェクト」に取り組んでいます。日本人の主食である米をはじめとした日本型食生活の推進、地場産をはじめとした国産農畜産物の消費拡大、小・中学校給食における安全・安心な農畜産物の提供や食農教育の推進に向けた取り組みに、今後一層努力してまいります。

平成二十二年にデビューした「つや姫」も、今年で五年目を迎えます。皆さんにおきましても、馴染みのあるお米となったことと思います。私たちJAGグループは、これからもおいしいごはん・お米に、注目していただけるよう努力してまいりますので、応援をよろしく願います。

最後に、当コンクールをますます発展させていただきますよう皆さんのご協力をお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

第38回 「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

全国審査における入賞者

○全国優秀賞

(作文 3 部) 小野寺涼太 鶴岡市立朝日中学校 3年 (図画 3 部) 平間 杏奈 山形市立金井中学校 2年

山形県審査における入賞者

作文部門

●1部 (小1～3年)

山形県知事賞	佐々木美耀	米沢市立興譲小学校	2年
山形県農協中央会会長賞	阿部 聖音	酒田市立浜田小学校	2年
優 秀 賞	上林 奈央	鶴岡市立東栄小学校	1年
	津藤 奏	山形市立第六小学校	1年
	小野幸治郎	大蔵村立大蔵小学校	1年
	早坂 大翔	大蔵村立大蔵小学校	2年
	安部 真桜	米沢市立上郷小学校	3年

●2部 (小4～6年)

山形県知事賞	高橋満里奈	新庄市立昭和小学校	6年
山形県農協中央会会長賞	佐藤 礼夢	鶴岡市立朝日小学校	5年
優 秀 賞	田村 健人	米沢市立塩井小学校	4年
	諏訪 琳音	鶴岡市立西郷小学校	5年
	大滝 星矢	鶴岡市立朝日大泉小学校	5年
	佐藤 陽理	南陽市立沖郷小学校	6年
	伊藤 日高	鶴岡市立朝日小学校	6年

●3部 (中1～3年)

山形県知事賞	小野寺涼太	鶴岡市立朝日中学校	3年
山形県農協中央会会長賞	安部 優香	米沢市立南原中学校	3年
優 秀 賞	伊藤 優太	山形市立第一中学校	1年
	鈴木 千絵	南陽市立宮内中学校	2年
	高橋真惟子	南陽市立宮内中学校	3年
	石原 花凜	飯豊町立飯豊中学校	3年
	清和 怜真	鶴岡市立朝日中学校	3年

●学校奨励賞

大蔵村立大蔵小学校
鶴岡市立朝日中学校

図画部門

●1部 (小1～3年)

山形県知事賞	阿部 大翔	尾花沢市立名木沢小学校	1年
山形県農協中央会会長賞	江刺さくら	尾花沢市立尾花沢小学校	2年
優 秀 賞	五十嵐羽琉	鶴岡市立朝暘第六小学校	3年
	堀江 星琉	尾花沢市立尾花沢小学校	2年
	笹原 月吹	尾花沢市立玉野小学校	1年
	佐藤 愛心	村山市立富本小学校	2年
	佐藤 なお	鶴岡市立栄小学校	3年

●2部 (小4～6年)

山形県知事賞	二瓶 寛太	山形大学附属小学校	4年
山形県農協中央会会長賞	早坂 美羽	尾花沢市立宮沢小学校	6年
優 秀 賞	渡辺 成美	尾花沢市立福原中部小学校	6年
	鈴木 来春	尾花沢市立尾花沢小学校	5年
	齋藤 亜子	尾花沢市立尾花沢小学校	6年
	菅藤 優成	尾花沢市立常盤小学校	4年
	佐藤 花玲	鶴岡市立櫛引東小学校	6年

●3部 (中1～3年)

山形県知事賞	平間 杏奈	山形市立金井中学校	2年
山形県農協中央会会長賞	本澤 育実	山形市立第九中学校	3年
優 秀 賞	井上 楓	山形市立第九中学校	3年
	山口 桃佳	山形市立第九中学校	3年
	枝松 伶奈	山形市立第九中学校	3年
	藤原 優衣	山形市立第九中学校	3年
	齋藤 穂歌	山形市立金井中学校	2年

●学校奨励賞

尾花沢市立尾花沢小学校
山形市立第九中学校



■山形県知事賞■

「おいしい おにぎり」

尾花沢市立名木沢小学校一年

阿部 大翔

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「お母さん、もりすぎ!!!」

尾花沢市立尾花沢小学校二年

江 刺 さくら

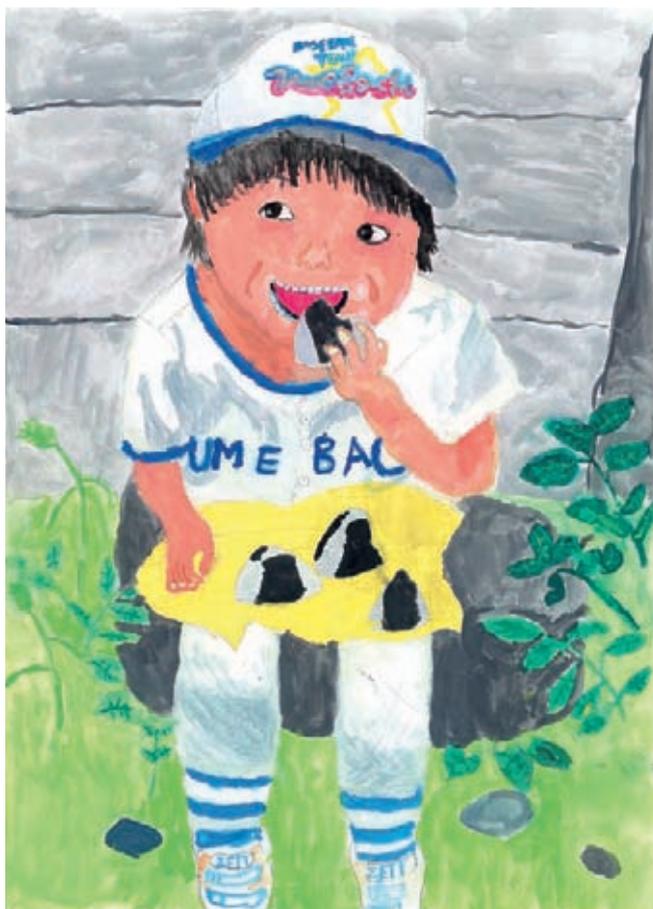


■山形県知事賞■

「おいしいな、おにぎり!!」

山形大学附属小学校四年

二瓶 寛太



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「おいしくなあれ」

尾花沢市立宮沢小学校六年

早坂 美羽





■全国優秀賞・山形県知事賞■
「実のり感謝して」

山形市立金井中学校二年

平間 杏奈



■山形県農業協同組合中央会会長賞■
「稲を刈る人」

山形市立第九中学校三年

本澤 育実

■山形県知事賞■

いの、あじわい！

米沢市立興讓小学校二年 佐々木美耀

「この、あじわい！」

みんなで、大ごえで言うのが、わたしのかぞくのルールです。いえでごはんをたべるとき、おいしいときはそう言うことになっているのです。みんなでわらいながら言うのがきまりです。わたしのかぞくだけのやくそくです。おかあさんの手づくりのおかずを、ほかほかのごはんとたべて、おとうさんも、おとうとも、わたしも、えがおで言います。

「この、あじわい！」

みんなで、口ぐちに言いながらたべていると、ごはんがどんどんなくなっていくます。

わたしのうちのカレーは、小むぎことバターからつづります。夕ごはんがカレーだと分かると、おとうとは、朝からたのしみしています。わたしも、おかあさんの

カレーをたのしみしています。おかあさんは、大きなおさらに、ごはんを大もりによそいます。ごはんはたき立て、ゆ気が上がってアツアツです。そこにたつぷりカレーをかけて、テーブルにならべます。つやつやのごはんの山にカレーがのった大ざらが四つ。どれも大もりです。おとうさんが、大きな口をあめぐりあけて、たべて一言、

「この、あじわい！」

そのあと、わたしもおとうとも、おかあさんも同じように言います。みんなのこにこがおがあせでひかります。まい日、夜、わたしがおふろに入っているときに、おかあさんがおこめをといでいます。おふろまで聞こえてくるシャキシャキ、シャキというおこめをとぐおいしい音。つぎの日の朝五じにタイマーでごはんがたき上がります。まい日、きらきらほしの音がくが聞こえてくると、うちのごはんのでき上がりです。そして、食べてみんなで、

「この、あじわい！」

「この、あじわい！」

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

はじめてのお米当ばん

酒田市立浜田小学校二年 阿部 聖音

ぼくは、ことしの春からお米当ばんになりました。いままでは、お兄ちゃんがお米当ばんをやっていました。春から大学に行ってしまったので、ぼくが当ばんをすることになったのです。お兄ちゃんと毎日さばらないでやるとやくそくしたので、がんばってやりました。

はじめは、水が白くにごっていました。だんだんときれいなとう明の水に代わってきました。お母さんにお米を見せたら、

「もういいよ。」

と言われたので、とぐのをやめて、水のりようを教えてくださいました。お母さんから、

「かまの中にあるメモリより、少し上で。」

と言われましたが、ぼくはメモリより少し上ということに気が付かなくて、もう一どお母さんに水のりようを見て

もらいました。そして、

「だいじょうぶだよ。」

とお母さんからいわれたので、すいはんきに入れて、タイマーをセットしてねました。

つぎの日の朝、いつもより早く目がさめました。台どころにいつてすいはんきを見ると、ほおんになっていました。ふたをそつとあけて見ました。白いふつくらとしたつやつやのごはんにかわっていました。ぼくは「やったね。せいこうした。」とうれしくなって、すぐにお父さんのぶつだんに、

「お父さん、ぼくがはじめてたいたごはんだよ。」

と教えてあげました。お母さんは、

「しおんがたいたごはん、おいしいって言っているんじゃないかな。」

と、ほめてくれました。

ぼくも食べてみると、ごはんがふつくらもちもちしていて、とてもおいしかったです。

「しおんがたいたごはんはとてもおいしいね。」

と、お母さんもおいしそうに食べてくれました。これからもお米当ばんをがんばります。

■山形県知事賞■

わたしたちの身近にあるお米

新庄市立昭和小学校六年 高橋満里奈

お米の存在を考えた時、一番最初に思うことは、「お米はわたしたちの生活になくてはならないもの。」ということでした。

わたしたちは、毎日朝、昼、晩と当たり前のようにご飯を食べています。たまにはパンやラーメンなどを食べることもありますが、やっぱり日本人の主食はお米です。ご飯は、いつもおかずと一緒に食べるけど、おかずなしでご飯だけをよくかんで食べると、かめばかむほどほんのりと甘くて、とつてもおいしいです。おおげさかもしれません。

「日本人でよかったなあ。」
と思う瞬間です。

わたしの家のまわりには、見渡すかぎり、たくさんの豊かな田んぼが広がっています。わたしの家ではお米を

作っていませんが、わたしの同級生や学校のほとんどの人のおうちの人がお米を作っています。だから、社会科で「米作りのさかんな庄内平野」という学習をしたとき、友だちも私も、

「何でこんな当たり前のことが教科書にのっているのかな。」

「簡単すぎるよ。」

なんて言っていたほどです。つまり、わたしたちの生活は、お米が身近にある生活なのです。

今年、わたしたちのクラスでは「彦太郎」という珍しい品種のモチ米を栽培することになりました。学校の前庭で種をまき、苗を育て、花壇を耕して代かきをしました。みんなで田植えをしたときの、ごつごつした石が足のうらにあたって痛かったことと言ったら…。今も毎日大きくなっていく苗や稲を「彦ちゃん」と呼んで、大事に育てています。

実際に育ててみると、頭では「簡単すぎるよ。」と思っていたお米づくりは、とても大変な仕事でした。教科書に載っていた「苗半作（苗の育ち具合で米の出来具合のほとんどがきまること）」や「田植えから刈り取りまで、

水の管理が最も重要」という言葉が今になってやっとわかります。そうです。わたしが身近に感じていたのは、「食べる」という意味でのお米で、「作る」となると、その大変さを何も分かっていませんでした。

それでも、夏休み、クラスみんなと当番制で、彦ちゃんの水やりを続けた結果、夏休み明けに、ついに彦ちゃんの穂にみがかっているのをみたときは、うれしくてうれしくてたまりませんでした。

わたしは、お米を作る経験を通して、今までよりさらにお米を身近に感じるようになりました。「いただきませす。」「ごちそうさま。」の言葉に、お米に関わっている全ての人への感謝の気持ちを込めたいと思います。もちろん、お米への感謝の気持ちも忘れずに。

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

わが家の味

鶴岡市立朝日小学校五年 佐藤 礼夢

私の家では、季節の行事などがあると、必ずお米を使った料理を作ります。おもち、笹巻き、炊き込みご飯など様々なお米料理を祖母が作ってくれます。どの料理も大好きなのですが特に笹巻きが大好きで、たくさん食べてしまいます。食べすぎると「胸焼けするからほどほどに」と言われるくらい大好きです。

今年、母は祖母から笹巻きの作り方を教わっていました。私は笹巻きが大好きですが、今までは作り方などがあまり興味をもったことがありませんでした。私は母と一緒に作り方を教わってみることにしました。初めに、笹の葉を祖母が冷凍庫から出してきました。冷凍するのとて、笹の葉が緑のままきれいなので、わが家では笹の葉は乾燥したものを使わないそうです。「笹の葉を真ん中からくるっと巻いてお米を詰めて」と祖母がなれた手つ

きで作業しながら言うので、母と私もやってみたのですが、笹の葉を丸めもち米を入れると下の方からお米が落ちていってしまいました。母が「難しいね、おばあちゃん簡単に巻いているのにね」と言いました。祖母はあつという間に、いくつも笹巻きを巻いてしまいました。私が「笹巻き名人だね」と言うにつこりして、また巻き始めました。お米を詰めすぎると巻けないしとても難しい作業でした。

笹巻きを巻き終わると、外に出て灰汁を入れた鍋で笹巻きを約三時間煮込みます。五月になると、あちこちの家で同じように笹巻きを煮る光景が見られます。祖母が「笹巻きは家によって灰汁の量が違うから味が違うよ」と教えてくれました。母に火の番をしている時にどうして笹巻きの作り方習ったのか聞いてみました。「我が家の味を礼夢に教えられるように、おばあちゃんから教えてもらったの」と言いました。何回も薪を足して火力を一定にしながら出来上がりまで汗をぬぐいながらがんばりました。出来上がった笹巻きは、とてもおいしそうでした。母と私は嬉しくて、さっそく食べることにしました。笹を取ると黄色でプルンとした、笹巻きができ上がって

いました。きな粉と黒みつで食べてみるとおいしかったです。「おいしいね」と家族みんなに言ってもらえました。

毎日食べる、ご飯と違って、お米を使った料理は季節の行事などでしか食べず、一年のうち回数しか食べないものです。昔は、みんなの家で作っていたと思います。が今はお店で買ってしまふことが多くなってきていると思います。母と会話の中で、私にもお米を使った料理を伝えたいと言っていました。私もお米の料理などに興味を持ち手伝いをしながら、少しずつお米の料理を覚えたいし、いつか自分の子供に教えてあげたいと思いました。今は、わが家のお米料理をたくさん食べて味を覚えたいと思います。



■全国優秀賞・山形県知事賞■

食に感謝 米に感謝

鶴岡市立朝日中学校三年 小野寺涼太

「米の中には神様がいます。」

この言葉を祖母から初めて聞いた時のことを、僕は中学三年生になった今でもはっきりと覚えています。それは僕がまだ幼いころ、家族で夕飯を食べているときのことでした。いつもと変わらない食卓で、いつもと変わらず自分の席に座り、テレビを見ながらご飯を食べていました。テレビに気を取られ、箸に乗せたご飯をうっかり床に落としてしまったのです。当然のようにそのご飯粒を捨てようとした僕に、祖母が静かに言いました。

「米一粒一粒さ、神様がいますあんど。だから、そげだ簡単なごどでねえあんど。」

そのときの僕には、祖母が伝えようとしたこの意味がはっきりとはわかりませんでした。急に「米には神様がいます」と言われても、信じられるわけがありません。そ

れに、僕が住んでいる朝日は、周りには田んぼだらけの風景が広がり、お米を食べない日はないというくらい、米は身近な食べ物なのです。だから食卓にご飯があるのは当たり前で、特別に好きなわけでもありませんでした。あの時も、そんな気持ちで僕はご飯を食べ、当然のようにこぼしたご飯を捨てようと思いました。祖母が行った言葉の真意をそのときはわかりませんでした。子どもながらに気になり、時々神様の姿を想像したり、米粒をじっと見つめてみたりしました。その後、小学校での稲作体験や中学校の修学旅行で訪れた沖縄での平和学習などを通じて米作りの苦労や、戦争中の人々の苦しみについて学習し、米は貴重なものだという考えがすこしわかるようになってきました。

しかし、その言葉の意味を本当に実感したのは、今年の六月、祖父が亡くなったときです。元気だったころは、本当によく食べる人でした。ご飯が大好きで、いつもおいしそうに食べていました。そんな祖父を襲った病気は胃がんです。徐々に食事がのどを通らなくなり、体重は半分くらいに減ってしまいました。病院に入院し、治療しても、よくなることはありませんでした。食べる量も

ほんの少しで、亡くなる直前は、ほとんどものを食べられませんでした。せめて亡くなる前にもう一度、大好きだったご飯を食べさせてやりたかったと強く思いました。

食べ物と命は結びついていてということとそのとき感じ、僕の考え方が少し変わったように思います。別に米が大好きになったというわけではありませんが、出されたものは全部食べて、茶碗についている米粒も残さないようになりました。それは、食べたくても食べられなかった祖父の最期の姿が目に見えつつあるからだと思います。

今、茶碗に残った米粒を一つひとつ食べていると、幼いころに祖母に言われた言葉の意味がわかるような気がします。毎日当たり前のように温かいご飯を食べられること、さまざまな食べ物がどこでも買えることは本当に幸せなことです。今ではインターネットを使って店に行かなくても届けてもらうこともできます。しかし、あまりにも便利になったせいで、食べ物に対する感謝の気持ちは忘れられているのではないのでしょうか。食べ物はあつて当然のものではなく、自然の恵みや、作る人の苦勞があるからこそ、店に並ぶのです。それを昔の人は

「米粒の中に神様がいる」という言葉で、子どもに教えようとしたのでしょう。幼い日の僕は、米粒と神様の関係がよくわかりませんでした。今は自分なりに理解できたと思っています。きれいな水や太陽のぬくもり、大地の養分など、人間の知恵や歴史を超えた大自然が生み出した米。だから命をつないでくれる食べ物に感謝し、それを与えてくれた神様に感謝して食べる気持ちを大事にしなければならぬのだと思います。お米の神様は、今も多くの人々の命をつないでいます。



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

祖母のおにぎり

米沢市立南原中学校三年 安部 優香

「ただいまあー。ばあちゃんおなか減った、何かお菓子ある？」

「お菓子のかわりにおにぎり食べ」

小学校から帰宅した私と祖母の毎日の会話でした。しかし、私はスナック菓子なども食べたいと思っていました。祖母が作るおにぎりは、いつも味噌おにぎり塩おにぎりといった昔ながらのおにぎりばかり、たまには中に具の入ったおにぎりも食べたいと思っていました。

私は小学校一年生から六年生まで、水泳教室に通っていました。その帰りは夜遅いので、みんな何かを食べて家に帰ります。私はいつも祖母が作ってくれたおにぎりをもって行っていました。月に四個、六年間作ってくれたので二百八十八個も作ってくれていたことになりました。この事に気づき、私は感謝しなければならぬと強く思

いました。六年間、私のためにかかさず作ってくれた祖母のおにぎりは、私に泳ぐための力を与えてくれたたのしみかもしれません。祖母のおにぎりを食べるとエネルギーがわいてくるようで、いつのまにか私は祖母のおにぎりが大好きになっていました。

私の家では、祖父・祖母・父の三人で米を作っています。毎年、田おこしから始まり、稲刈りで終わる稲作作業を間近で見たり、手伝ってきたりした私ですが、正直、お米のおいしさは最近までわかりませんでした。しかし、祖母のおにぎりはお米のおいしさを引き出してくれるのです。祖母は米作りの大変さを一番知っているからこそ、お米の一番おいしい食べ方を知っていたのかも知れません。

今、日本の米作りは高齢化が進んでいて、農家の半数以上が六十歳以上だそうです。また、米よりもパンを食べる若者が増えてきている現状もあります。これはとても残念な事です。最初から今のおいしい米があったわけではありません。日本の気候、日本人の味覚にあった米を作るためにはとても長い時間がかかっているのです。南原は吾妻山が近くにあり、日照時間が短いため、平野

部に比べて収量が少なくなってしまうということもあります。祖父母のような苦勞をしてきた人がいるからこそ、今のおいしい日本の米があると思います。

今、TPPの問題があり、外国の物が安く手に入るということで、農家の方々が困っています。

「じいちゃん、TPPをどう思う？」

「反対だ。」

祖父は即答でした。その後について祖父は、

「これからは、規模を拡大してコストダウンして、生活も安定できるようにしんなんね。だけど、一番は消費者が好んで食べるおいしい米を作る事だ。そうやって、外国の米よりも喜んでもらえる米を作っていくべ。」

と言っていました。TPP問題についても自分達の努力で立ち向かおうとする姿に気づき、私はとても感心しました。そして、こんなに苦勞している人達がいるということを知れば、若い世代も米のおいしさがわかると思います。

農家の努力、お米のおいしさを考えるきっかけとなったのは、祖母のおにぎりでした。私も祖母と一緒に台所に立ち、祖母が作ってくれた新鮮な農産物を使った料理

と一緒に作りたいです。

父は、

「米作りは大変だ。でも一年間苦勞して作った米をみんなに食べてもらった時の喜びは格別だ。だからこそ米を作っている。」

と聞いていました。米作りの大変さだけでなく喜びを知ってもらえば、もっと稲作農家も増えると思います。これからも「日本の米」がたくさんの人に愛されるように私も努力していきたいです。



作文部門審査講評

山形市立第五小学校校長 田 中 淳

第三十八回の本コンクールには、県内七一校から二八九点の作品が寄せられました。どの作品もお米やごはんに関わる思い出や出来事がしっかりと書き込まれていて、読み応えのあるものばかりでした。そのような作品の中から、全国コンクールにおいて鶴岡市立朝日中学校三年・小野寺涼太君が見事に優秀賞に輝きました。また、県審査も行われ、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、県優秀賞、県学校奨励賞の各賞を選考しました。みなさんおめでとうございます。ここでは、県審査において特別賞を受賞されたみなさんの作品を紹介します。

一部（小学校一年生から三年生）

○「この、あじわい！」

（米沢市立興讓小学校二年・佐々木美耀・山形県知事賞）

題名でもある「この、あじわい！」という言葉をごはんを食べる時のルールにしているという書き出しが、まず読み手を引きつけます。みんなで和やかに食卓を囲みながら、笑顔で食事をしている家族の雰囲気がよく伝わってきます。的確な表現で文章のテンポがよく、明るい家族の様子と相まって印象的な作品になっています。

○「はじめてのお米当ばん」

（酒田市立浜田小学校二年・阿部聖音・山形県農業協同組合中央会会長賞）

年上の兄からご飯を炊く仕事を引き継いだ聖音君。その仕事を一生懸命に取り組む中で、あらためてお米のよさに気づいていく様子がしっかりと書き込まれています。初めて炊いたご飯をなくなったお父さんの仏壇に供える場面も心に染みます。子どもらしい素直な文章表現がとても印象的な作品です。

二部（小学校四年生から六年生）

○「わたしたちの身近にあるお米」

（新庄市立昭和小学校六年・高橋満里奈・山形県知事賞）

「ご飯をじっくり味わいながら日本人でよかったなあ。」と感じる作者。そのことを出発点として、お米に対する視野の広がりがよく感じられる作品です。実際に米作りを体験することによって、社会科での学びが本物となっていく様子もよく伝わってきます。それだけに、お米への感謝で結んだ最後の一文が心に残ります。

○「わが家の味」

（鶴岡市立朝日小学校五年・佐藤礼夢・山形県農業協同組合中央会会長賞）

大好きな笹巻きを作り方を母と一緒に祖母から習う様子が効果的な会話を通して生き生きと表現されています。笹巻きを実際に作ることを通して、祖母のすばらしい技に目を見張り、我が家の伝統の味を伝えていきたいという母の願いを知り、その上で自分もまたお米の料理を覚えていきたいという思いがよく伝わってきます。

三部（中学校）

○「食に感謝 米に感謝」

（鶴岡市立朝日中学校三年・小野寺涼太・山形県知事賞、全国優秀賞）

「お米一粒一粒の中には神様がいる」と祖母に言われたことをきっかけにして、その答えを病気になって大好きだったご飯が食べられず、日に日にやせ細っていく祖父の様子を中心にしつかりとまとめられています。物のあふれている幸せな現代を直視しながら、命をつなぐ食べ物への感謝の気持ちを大切にしたいという思いが見事にまとめられている作品です。

○「祖母のおにぎり」

（米沢市立南原中学校三年・安部優香・山形県農業協同組合中央会会長賞）

効果的な会話が読み手を引きつけます。それだけに六年間祖母が作り続けてくれたおにぎりへの感謝の思いがよく伝わってきます。おいしいお米を作る父と祖母の姿と、今日の農業の課題を重ねて考えを深めながら、「祖母のおにぎり」の価値を再認識し、おいしいお米を大切にしたいという思いをしつかりまとめられています。

県学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校と鶴岡市立朝日中学校が、それぞれ受賞をしました。おめでとうございます。

どの作品からも、様々な体験を通してごはんやお米について、実にしっかりとした見方・考え方が感じられました。米離れが叫ばれて久しい昨今ですが、読んでいても頼もしく感じました。是非多くの方々に読んでもらいたいと思います。そしてまた来年もみなさんのすばらしい作品を待っています。

評 講 査 審 門 部 画 図

山形市立南山形小学校校長 田 中 利 幸

第三十八回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの図画部門には、県内百九校から八四一点の作品応募がありました。全国コンクールでは、山形市立金井中学校二年・平間杏奈さんの「実のり感謝して」が優秀賞を受賞しました。本当におめでとうございます。

それでは、県審査を行い、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞を受賞されたみなさんの作品を紹介いたします。

一部（小学校一年生から三年生）

○「おいしい おにぎり」

（尾花沢市立名木沢小学校一年・阿部大翔・山形県知事賞）

大好きなおにぎりをもって、とてもうれしそうに自分を力強く堂々と描いています。のりが小さく見えるほど大きなおにぎりと、大きく開いた口、大きな目から、「いっぱい食べるぞ」という気持ち伝わってきます。たくさん食べて、ぐんぐん大きくなりそうです。

○「お母さん、もりすぎ!!」

（尾花沢市立尾花沢小学校二年・江刺さくら・山形県農業協同組合中央会会長賞）

明るい黄色を背景にして、お母さんとわたしを元気あふれるタッチで描きました。笑顔いっぱいのお母さんが、山盛りのごはんに、さらにご飯をのせようとしています。大盛りのごはんに注目して、目を丸くして驚くわたしの表情もいいですね。母娘の温かい日常が、画面から伝わってきます。元気あふれるタッチで描いています。

二部（小学校四年生から六年生）

○「おいしいな、おにぎり!!」

（山形大学附属小学校四年・二瓶寛太・山形県知事賞）

スポーツ少年団の試合の後でしょうか、一生懸命運動した後にはおぼるおにぎりのおいしさが伝わってくるようです。にぎってもらったおにぎりを大事にひぎの上のせて食べている男の子を大きく真ん中にとらえ、何と言ってもここにこしながらいしそうです。

おぼる表情を生き生きと描いています。

○「おいしくなあれ」

（尾花沢市立宮沢小学校六年・早坂美羽・山形県農業協同組合中央会会長賞）

おにぎりをにぎる手元を大きくとらえ、色を重ねながらやさしいタッチで描いています。「おいしくなあれ」という願いを込めながら心をこめて優しくにぎっている表情が目に見えるようです。絵具を薄く溶いて丁寧に塗り重ねている表現からも思いが伝わり、遠足に持っていくのか誰と一緒に食べるのか、想像が膨らみます。

三部（中学校）

○「実のり感謝して」

（山形市立金井中学校二年・平間杏奈・山形県知事賞）

みんなで協力しながら稲刈りに励む様子がよく描かれています。たくさん的人物が重なり合う難しい構図ですが、濃淡に気をつけて上手に彩色され、遠近感を出しています。収穫の喜びや、感謝の気持ち、人物の表情や稲を束ねる手の動きなど、細やかな所まで表そうとしているところまで意識して表そうとしているところから伝わってきます。

○「稲を刈る人」

（山形市立第九中学校三年・本澤育実・山形県農業協同組合中央会会長賞）

鎌を使って稲を刈る婦人の様子を丁寧に描きました。作業する人物の手や足腰など力の入り方をよく観察してみごとに描いています。シャツやズボンのシワ、長ぐつの色など素晴らしいです。淡い色で表現した秋の空の広がりや、輝く稲穂の色から収穫の音や田園に吹く風まで伝わってきます。

県学校奨励賞

優秀な作品が多かった、尾花沢市立尾花沢小学校と山形市立第九中学校が受賞されました。誠におめでとうございます。

作文部門

図画部門

第32回	第31回	第30回	第29回	第28回	第27回
<p>山形県</p> <p>●県知事賞 瀬川 隼矢(庄内町) 河野 美波(鶴岡市) 佐藤 楓(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 後藤 怜(最上町) 上野 艦(鶴岡市) 山口 和華(天童市)</p> <p>●優秀賞 渡部 寿彦(鶴岡市) 笠原妃奈乃(最上町) 伊藤南奈美(鶴岡市) 結城 諒(最上町) 佐藤麻捺夏(鶴岡市) 五十嵐春奈(最上町) 阿部紗世子(最上町) 菅 風沙(最上町) 引地加奈恵(最上町) 齋藤 央奈(山形市) 櫻井 祥太(山形市) 山口 愛実(南陽市) 久保 朝香(米沢市) 橋本明香里(山形市) 伊藤 香理(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立向町小学校 鶴岡市立第五中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 原田 咲雪(米沢市) 大池 清士(米沢市) 大道寺 澪(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 佐藤 悠汰(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 榎本江里加(鶴岡市)</p> <p>●優秀賞 伊藤 裕太(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 宮崎 俊也(鶴岡市) 情野 雪海(高島町) 金野 華奈(鶴岡市) 遠藤 拓実(最上町) 小野寺千尋(鶴岡市) 沖田 竜馬(米沢市) 有賀この美(鶴岡市) 渡部 実佳(庄内町) 渡部 香菜(鶴岡市) 尾形 祐佳(鶴岡市) 橋本 美月(米沢市) 橋本友賀子(山形市) 後藤 萌(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第一中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 阿部拓悠真(庄内町) 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 後藤 剛(高島町) 渡部 愛(米沢市) 佐藤 麻衣(山形市)</p> <p>●優秀賞 渡部 由夢(高島町) 阿部 理沙(鶴岡市) 高橋 恵美(最上町) 阿部 貴之(鶴岡市) 齋藤 蓮奈(鶴岡市) 佐藤 彩絵(鶴岡市) 菅野明日香(高島町) 小林 桜子(山形市) 有賀この美(鶴岡市) 佐藤 誠(庄内町) 山口 真盛(鶴岡市) 川田美沙樹(山形市) 今野 若奈(鶴岡市) 榎本有紀子(鶴岡市) 富樫 美穂(南陽市)</p> <p>●学校奨励賞 庄内町立余目第二小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 浩司(朝日村) 石山 芽生(最上町) 大湊 希(米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 貴之(榊町町) 齋藤 玲奈(羽黒町) 阿部 咲輝(朝日村) 佐藤 緑(山形市) 鈴木菜都美(大石田町) 武野由香里(朝日村) 難波 和希(朝日村) 山木 理央(高島町) 香澤 真佑(最上町) 橋本 大来(最上町) 大浦 沙織(高島町) 齋藤 那千(朝日村) 橋本夏津子(鶴岡市) 武田 奈緒(鶴岡市) 清野 郁(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 平 理紗子(高島町) 石山 涼(最上町) 渡部 沙紀(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 奥山 雅生(最上町) 守岡 雄朗(鶴岡市) 工藤 瑞徳(東根市)</p> <p>●優秀賞 石山 加奈(最上町) 菅 風沙(最上町) 伊藤 匠平(最上町) 渋谷 生帆(鶴岡市) 清野 真希(鶴岡市) 今井 大輔(鶴岡市) 菅井美香子(村山市) 五十嵐由香(鶴岡市) 大池 響子(米沢市) 阿達 大和(最上町) 稲垣菜里香(長井市) 土方 花重(鶴岡市) 南齋 宏駿(米沢市) 貝田 理沙(山形市) 宮崎加奈子(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立富沢小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 伊藤佐久磨(朝日村) 小野寺寛貴(鶴岡市) 菅原 香織(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 睦美(朝日村) 本間 稚菜(鶴岡市) 安孫子 郁(天童市)</p> <p>●優秀賞 二宮明日香(高島町) 阿部亜紗子(最上町) 大貫 秀平(最上町) 清野 史拓(朝日村) 佐藤 拓夢(鶴岡市) 岸 はづき(最上町) 渋谷 彩希(山形市) 二戸 浩太(最上町) 阿部 貴敏(最上町) 秋野 寛斎(鶴岡市) 松田 恵(南陽市) 川崎 成也(南陽市) 清野 郁(朝日村) 中里惠里香(朝日村) 難波 和宏(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 朝日村立朝日中学校</p>
<p>全国</p> <p>●文部科学大臣賞 金野 華奈(鶴岡市)</p> <p>●全国中央会会長賞 高橋 理久(村山市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立羽黒第三小学校</p> <p>●優秀賞 佐藤 楓(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 大池 清士(米沢市) 大道寺 澪(米沢市)</p>	<p>全国</p> <p>●内閣総理大臣賞 伊藤 浩司(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校</p> <p>●優秀賞 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 平 理紗子(高島町) 石山 涼(最上町) 渡部 沙紀(朝日村)</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 今野絵理奈(鶴岡市)</p> <p>●優秀賞 伊藤佐久磨(朝日村)</p>
<p>山形県</p> <p>●県知事賞 佐藤 永一(尾花沢市) 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 森谷 康平(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 垂石 杏(山形市)</p> <p>●優秀賞 三澤 悠花(尾花沢市) 鈴木 芹奈(鶴岡市) 本間 智広(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 吉田 周平(尾花沢市) 森 謙太(尾花沢市) 原田 紘(高島町) 菅野 静香(尾花沢市) 香澤 佑樹(山形市) 丸田 駿平(尾花沢市) 羽角 梨(山形市) 島津 桃子(米沢市) 石井 志織(山形市) 橋本明香里(山形市) 中村 実那(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 寒河江市立醍醐小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 會田 三郎(山形市) 今野美季子(三川町) 齋藤 里沙(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 押野 尚道(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 玉虫 正和(米沢市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 俊貴(鶴岡市) 高橋 翔太(高島町) 小黒 拓真(高島町) 長谷川 舞(鶴岡市) 佐藤 琳(尾花沢市) 東海林 道(尾花沢市) 上林 晃(鶴岡市) 森谷 麻衣(山形市) 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 西塚 祐斗(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 大木 拓也(米沢市) 石川紗己子(米沢市) 佐藤 広康(山形市) 志田 優花(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 米沢市立第六中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄(鶴岡市) 日下部仁美(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 大類 海斗(尾花沢市) 浜田ひかり(南陽市) 木村 友美(山形市)</p> <p>●優秀賞 星川 瑞生(山形市) 石山 詩穂(尾花沢市) 新田 尚太(山形市) 菅原浩太郎(尾花沢市) 佐藤つぐみ(鶴岡市) 加賀 東杜(大石田町) 溝越 舞子(尾花沢市) 藤谷 睦姫(鶴岡市) 鈴木 潤(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 遠藤 瑞紀(山形市) 伊藤 茜(山形市) 神田 涼真(米沢市) 佐藤 勇太(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立高橋小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 菜純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 笠原 錬(最上町) 難波 沙英(朝日村) 小野紗由季(山形市)</p> <p>●優秀賞 東海林梨奈(尾花沢市) 倉金 卓美(尾花沢市) 柴崎 日向(尾花沢市) 原田 桃香(尾花沢市) 阿部 風子(尾花沢市) 西尾 昂太(尾花沢市) 荘司 留加(尾花沢市) 齋藤 千佳(朝日村) 七森 結花(朝日村) 佐藤 光(温海町) 古関 彰(山形市) 花等 雄太(山形市) 小玉 愛(上山市) 古川 千夏(山形市) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 笹原 瑞紀(尾花沢市) 乙坂ひかり(温海町) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 蛸井 葉月(鶴岡市) 難波 紗夕(朝日村) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 翼(最上町) 高野 陽希(最上町) 木村さえり(鶴岡市) 高橋 龍星(大石田町) 本間 円(尾花沢市) 佐藤真理絵(温海町) 小内 将弘(尾花沢市) 鈴木 結(藤島町) 國分 雅哉(尾花沢市) 須田 琳子(鶴岡市) 日下部まどか(山形市) 設楽なつみ(山形市) 清野 美香(山形市) 伊藤 歩(山形市) 吉田真優美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 温海町立温海小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 荘司 留加(尾花沢市) 伊藤 祐太(尾花沢市) 村上 美紀(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 阿部 行成(鶴岡市) 須田 雄飛(鶴岡市) 武田亜沙美(山形市)</p> <p>●優秀賞 庄司 葉菜(尾花沢市) 村岡 孝一(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 渡部 香菜(朝日村) 佐藤 史彬(高島町) 渡辺 大平(尾花沢市) 菅野 慎(尾花沢市) 有路 里香(尾花沢市) 古瀬 裕真(尾花沢市) 阿部 貴文(鶴岡市) 古川 知美(山形市) 須貝 恵美(山形市) 高島 香織(山形市) 椎名 俊一(山形市) 鈴木 聖美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第三中学校</p>
<p>全国</p> <p>●農林水産大臣賞 會田 次郎(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立南小学校</p> <p>●優秀賞 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市)</p>	<p>全国</p> <p>●農林水産大臣賞 須藤 萌(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p> <p>●優秀賞 會田 三郎(山形市) 今野美季子(三川町)</p>	<p>全国</p> <p>●内閣総理大臣賞 三浦 潤平(山形市)</p> <p>●全国中央会会長賞 今野 桃子(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p> <p>●優秀賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 菜純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p>	<p>全国</p> <p>●農林水産大臣賞 栗野幸智恵(山形市)</p> <p>●全国中央会会長賞 伊藤 拓也(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 岸野 理沙(山形市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 瞳(朝日村)</p>

第38回	第37回	第36回	第35回	第34回	第33回
山形県 ●県知事賞 佐々木美耀 (米沢市) 高橋満里奈 (新庄市) 小野寺涼太 (鶴岡市) ●県中央会会長賞 阿部 聖音 (酒田市) 佐藤 礼夢 (鶴岡市) 安部 優香 (米沢市) ●優秀賞 上林 奈央 (鶴岡市) 津藤 奏 (山形市) 小野幸治郎 (大蔵村) 早坂 大翔 (大蔵村) 安部 真桜 (米沢市) 田村 健人 (米沢市) 諏訪 琳音 (鶴岡市) 大滝 星矢 (鶴岡市) 佐藤 陽理 (南陽市) 伊藤 日高 (鶴岡市) 伊藤 優太 (山形市) 鈴木 千絵 (南陽市) 高橋真惟子 (南陽市) 石原 花凛 (飯豊町) 清和 怜真 (鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 伊藤 風牙 (鶴岡市) 井上 瑞貴 (山形市) 松寄 大吾 (米沢市) ●県中央会会長賞 佐竹 巧 (山形市) 笹本 悠奈 (庄内町) 我妻隆太郎 (米沢市) ●優秀賞 早坂 大翔 (大蔵村) 朝倉 愛子 (南陽市) 丸山 美優 (鶴岡市) 渋谷 結 (鶴岡市) 佐藤 光 (鶴岡市) 池田 結 (庄内町) 會田 空翔 (山形市) 森 優奈 (米沢市) 佐藤みのり (庄内町) 齋藤 結月 (鶴岡市) 須貝 麗夢 (米沢市) 小野寺拓海 (鶴岡市) 高内 滯奈 (山形市) 井上 れな (鶴岡市) 遠藤 美月 (鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第四中学校	山形県 ●県知事賞 五十嵐まりあ (山形市) 土門 匠 (天童市) 早川 舞乃 (山形市) ●県中央会会長賞 大滝 楓人 (鶴岡市) 伊藤 琉圭 (鶴岡市) 阿部 咲輝 (鶴岡市) ●優秀賞 森 壮汰 (村山市) 安達 涼乃 (大石町) 阿部 夢叶 (最上町) 横山 陽音 (米沢市) 大滝 星矢 (鶴岡市) 細矢 愛結 (村山市) 矢萩 優生 (村山市) 曾根 匠人 (米沢市) 佐藤 亜美 (鶴岡市) 渡部 さくら (鶴岡市) 太田 里美 (米沢市) 渡部 羅夢 (鶴岡市) 森谷 咲耶 (東根市) 舟山 愛理 (米沢市) 中村 梨恵子 (山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日大泉小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 寺寄亜寿美 (大石町) 工藤 暢晃 (庄内町) 小野 茜 (朝日町) ●県中央会会長賞 佐藤 流偉 (鶴岡市) 菅原彩花里 (鶴岡市) 菅井 滯 (朝日町) ●優秀賞 後藤 美空 (米沢市) 菅原 菜央 (鶴岡市) 鈴木 駿佑 (大石町) 會田 空翔 (山形市) 鈴木 花凛 (米沢市) 伊藤南奈美 (鶴岡市) 長沼龍之介 (高島町) 斎藤 健 (真室川町) 齋藤 元希 (大石町) 小林 一樹 (寒河江市) 井上 玲 (米沢市) 大橋 鉄郎 (米沢市) 坂野 涼子 (米沢市) 江部ひふみ (米沢市) 杏澤 佑樹 (山形市) ●学校奨励賞 大石町立大石小学校 朝日町立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 伊藤南奈美 (鶴岡市) 難波 葵 (鶴岡市) 平山 美紀 (山形市) ●県中央会会長賞 今野 杏唯 (鶴岡市) 菅 瑞季 (最上町) 白石みおり (米沢市) ●優秀賞 原田 真白 (米沢市) 會田 空翔 (山形市) 押切 真依 (最上町) 後藤 大空 (米沢市) 押野 明純 (鶴岡市) 高橋 歩美 (高島町) 阿部 杏香 (鶴岡市) 安部 航大 (高島町) 近藤 舞 (鶴岡市) 山下 純平 (最上町) 遠藤 ゆい (鶴岡市) 渡部 加菜 (米沢市) 高橋 奏 (米沢市) 山口 大智 (南陽市) 我妻 隆羅 (米沢市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 押野 明純 (鶴岡市) 鈴木 彩 (鶴岡市) 有賀この美 (鶴岡市) ●県中央会会長賞 會田 空翔 (山形市) 伊藤 浩司 (鶴岡市) 我妻 隆羅 (米沢市) ●優秀賞 鈴木 彩 (鶴岡市) 井上 秀香 (真室川町) 山口 まの (鶴岡市) 伊藤南奈美 (鶴岡市) 渡部 寿彦 (鶴岡市) 黒井 紀香 (鶴岡市) 瀬川 隼矢 (庄内町) 安部 華奈 (鶴岡市) 保科 拓也 (鶴岡市) 尾形 有生 (米沢市) 進藤小百合 (米沢市) 小野寺奈々 (鶴岡市) 安達 景都 (鶴岡市) 小野寺千尋 (鶴岡市) 小野寺陽奈 (鶴岡市) 佐藤 理奈 (山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立斎小学校 鶴岡市立朝日中学校
全国 ●優秀賞 小野寺涼太 (鶴岡市)	全国 ●優秀賞 伊藤 風牙 (鶴岡市) 井上 瑞貴 (米沢市) 松寄 大吾 (米沢市)	全国 ●文部科学大臣賞 小林 千紗 (高島町) ●優秀賞 五十嵐まりあ (山形市) ●学校奨励賞 高島町立第二中学校	全国 ●文部科学大臣賞 瀬川 隼矢 (庄内町) ●農林水産大臣賞 石森 泉 (鶴岡市) ●学校奨励賞 庄内町立余目第四小学校 鶴岡市立鶴岡第四中学校	全国 ●農林水産大臣賞 齋藤 隼也 (鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立西郷小学校 ●優秀賞 白石みおり (米沢市) 平山 美紀 (山形市)	全国 ●優秀賞 鈴木 彩 (鶴岡市)
山形県 ●県知事賞 阿部 大翔 (尾花沢市) 二瓶 寛太 (山形市) 平間 杏奈 (山形市) ●県中央会会長賞 江刺さくら (尾花沢市) 早坂 美羽 (尾花沢市) 本澤 育実 (山形市) ●優秀賞 五十嵐羽琉 (鶴岡市) 堀江 星琉 (尾花沢市) 菅原 月吹 (尾花沢市) 佐藤 愛心 (村山市) 佐藤 なお (鶴岡市) 渡辺 成美 (尾花沢市) 鈴木 来春 (尾花沢市) 齋藤 亜子 (尾花沢市) 菅藤 優成 (尾花沢市) 佐藤 花玲 (鶴岡市) 井上 楓 (山形市) 山口 桃佳 (山形市) 枝松 伶奈 (山形市) 藤原 優衣 (山形市) 齋藤 穂歌 (山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立第九中学校	山形県 ●県知事賞 押切 零旺 (尾花沢市) 渡辺 成美 (尾花沢市) 高橋 綾香 (山形市) ●県中央会会長賞 渡會 圭悟 (尾花沢市) 日下 和也 (高島町) 竹田夏奈子 (山形市) ●優秀賞 三浦 匠悟 (尾花沢市) 小林 由侑 (尾花沢市) 伊藤 拓磨 (尾花沢市) 西尾 真央 (尾花沢市) 叶野 空和 (鶴岡市) 長永 千佳 (庄内町) 吉田京次郎 (山形市) 柴田 唯斗 (天童市) 砂田 千夢 (鶴岡市) 東海林玲奈 (尾花沢市) 平間 杏奈 (山形市) 秋葉ひなの (山形市) 渡邊 美佑 (山形市) 平吹 百恵 (山形市) 鎌田美乃里 (山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 齋藤 匠 (東根市) 溝越 真輝 (尾花沢市) 大滝 日菜 (山形市) ●県中央会会長賞 星川 悠人 (尾花沢市) 小幡 あみ (尾花沢市) 半田さつき (山形市) ●優秀賞 越前 快斗 (尾花沢市) 尾崎 李果 (尾花沢市) 菅原 優極 (尾花沢市) 叶野 空和 (鶴岡市) 宇田 竜健 (庄内町) 東海林玲奈 (尾花沢市) 本間 海成 (尾花沢市) 小幡 圭佑 (尾花沢市) 三浦 幸司 (尾花沢市) 佐藤 俊貴 (鶴岡市) 進藤 円 (山形市) 梅木 泉美 (山形市) 高橋 真優 (山形市) 横沢 美玖 (山形市) 齋藤 光 (南陽市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立第九中学校	山形県 ●県知事賞 柴崎 真人 (最上町) 森谷 康平 (山形市) 原田 拓夢 (山形市) ●県中央会会長賞 加賀 悠大 (鶴岡市) 小幡 圭佑 (尾花沢市) 荒井瑳絵子 (山形市) ●優秀賞 高橋 龍馬 (大石町) 鈴木 来春 (尾花沢市) 菅原 実莉 (尾花沢市) 五十嵐一樹 (尾花沢市) 西塚 優太 (尾花沢市) 星 竜成 (米沢市) 佐藤 一貴 (天童市) 五十嵐友寿 (鶴岡市) 佐藤 俊貴 (鶴岡市) 押野 尚道 (鶴岡市) 大滝 日菜 (山形市) 高橋 里沙 (山形市) 吉田 心 (山形市) 遠藤 千央 (山形市) 鈴木 里奈 (山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝陽第二小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 丹波 優大 (尾花沢市) 森谷 康平 (山形市) 鈴木 智佳 (山形市) ●県中央会会長賞 菅 佑奈 (最上町) 小幡 剛 (尾花沢市) 武田可奈子 (山形市) ●優秀賞 伊藤日向子 (鶴岡市) 廣瀬 佳那 (尾花沢市) 平井 聖太 (高島町) 宮崎 泰成 (鶴岡市) 西尾 文佳 (尾花沢市) 海谷 有美 (高島町) 佐賀井千里 (鶴岡市) 高橋 捷 (尾花沢市) 今野杏有子 (三川町) 前田 和哉 (鶴岡市) 荒井瑳絵子 (山形市) 田中 敦子 (山形市) 阿部 浩宜 (山形市) 岸 由麻 (山形市) 三浦 彩希 (山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立第九中学校	山形県 ●県知事賞 阿部 篤 (尾花沢市) 會田 次郎 (山形市) 武田可奈子 (山形市) ●県中央会会長賞 菅野 颯 (尾花沢市) 押野 尚道 (鶴岡市) 岡部 咲 (酒田市) ●優秀賞 島津 諒 (高島町) 加藤 翔龍 (尾花沢市) 佐藤 愛竜 (尾花沢市) 藤井美名保 (尾花沢市) 佐藤 崇人 (鶴岡市) 伊藤 陸 (天童市) 今野杏有子 (三川町) 藤田 麗 (鶴岡市) 井上 和也 (尾花沢市) 伊藤 浩司 (鶴岡市) 佐藤 緑 (山形市) 渡邊 千咲 (山形市) 上林 穂末 (山形市) 鈴木 里奈 (山形市) 加地 明里 (米沢市) ●学校奨励賞 尾花沢市立明德小学校 山形市立金井中学校
全国 ●優秀賞 平間 杏奈 (山形市)	全国 ●農林水産大臣賞 志田 葉月 (山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校	全国 ●優秀賞 半田さつき (山形市)	全国 ●農林水産大臣賞 西田 知世 (山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校	全国 ●農林水産大臣賞 會田 三郎 (山形市) ●学校奨励賞 山形市立南小学校 ●優秀賞 鈴木 智佳 (山形市)	全国 ●内閣総理大臣賞 栗野 梨恵 (山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校 ●優秀賞 會田 次郎 (山形市)

第 38 回

「こはん・お米とわたし」作文・図画コンクール審査経過の概要

■応募数

作文：289点

図画：841点 合計 1,130点

区分	1部	2部	3部	計
作文部門	56点	83点	150点	289点
図画部門	450点	372点	19点	841点

■審査

(1) 県予選審査期日

作文部門 平成25年10月24日(木)

図画部門 平成25年10月22日(火)

(2) 全国コンクールの結果

優秀賞 (作文部門1名、図画部門1名)

(3) 県審査会期日 (作文・図画部門合同)

平成26年1月14日(火)

■審査委員

【全国コンクール】

【県コンクール】

作文部門

審査委員長 田中 淳(山形市立第五小学校 校長)

高木 光紀(山形市立第七中学校 教頭)

柴崎 宏平(山形市立蔵王第一中学校 教諭)

三條久美子(上市市立宮川小学校 教諭)

阿部 理香(寒河江市立寒河江小学校 教諭)

森 勇人(東根市立第二中学校 教諭)

図画部門

審査委員長 田中 利幸(山形市立南山形小学校 校長)

関 浩(天童市立第二中学校 教諭)

佐藤 和彦(寒河江市立寒河江中部小学校 教諭)

笹原 聡(村山市立葉山中学校 教頭)

■審査結果

(1) 全国コンクール

優秀賞 作文部門1名、図画部門1名

(2) 県コンクール

・山形県知事賞 作文部門3名/図画部門3名

・山形県農業協同組合中央会会長賞

作文部門3名/図画部門3名

・優秀賞 作文部門15名/図画部門15名

・学校奨励賞 作文部門2校/図画部門2校

■表彰式

期日：平成26年2月15日(土)

会場：山形市「山形国際ホテル」

年度	部門	1部	2部	3部	合計
8 (第21回)	作文 図画	201 639	337 507	152 66	690 1,212
9 (第22回)	作文 図画	63 643	229 461	69 40	361 1,144
10 (第23回)	作文 図画	75 907	137 594	117 47	329 1,548
11 (第24回)	作文 図画	108 869	195 450	108 26	411 1,345
12 (第25回)	作文 図画	65 495	122 311	112 9	299 815
13 (第26回)	作文 図画	45 731	143 408	91 16	279 1,155
14 (第27回)	作文 図画	91 688	98 417	132 23	321 1,128
15 (第28回)	作文 図画	87 771	82 589	189 30	358 1,390
16 (第29回)	作文 図画	50 449	157 468	129 29	336 946
17 (第30回)	作文 図画	67 523	87 496	156 37	310 1,056
18 (第31回)	作文 図画	33 429	217 499	227 29	477 957
19 (第32回)	作文 図画	44 488	117 418	225 27	386 933
20 (第33回)	作文 図画	58 550	84 412	231 27	373 989
21 (第34回)	作文 図画	77 521	95 376	235 26	407 923
22 (第35回)	作文 図画	68 531	151 308	196 67	415 906
23 (第36回)	作文 図画	56 531	66 290	266 32	388 853
24 (第37回)	作文 図画	51 424	61 309	211 36	323 769
25 (第38回)	作文 図画	56 450	83 372	150 19	289 841

◆第38回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領◆

1. 趣 旨

本コンクールは、JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農を担う次世代の子どもたちにお米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することをつうじて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食の重要性を広く周知するために実施します。

2. 課 題 (作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

3. 応募資格

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。
特別支援学校の小学部、中学部。

4. 応募規格 (枚数・大きさ)

【作文部門】

- 1部 小学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)
- 2部 小学校4年生～6年生 (400字詰め原稿用紙3枚以内)
- 3部 中学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙4枚以内)

(注)作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください。

(注)本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

【図画部門】

- 1部 小学校1年生～3年生
 - 2部 小学校4年生～6年生
 - 3部 中学校1年生～3年生
- B3判、もしくは四つ切りの市販画用紙を使用。画材はとくに制限しません。

5. 応募規則

- (1) 課題にそった作品を対象とします。
- (2) 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- (3) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。
- (4) 図画作品でポスター形式 (標語・キャッチフレーズ文字の入ったもの) のものは応募できません。
- (5) 学校で応募の際は、別添の推薦名簿 (作文部門6ページ、図画部門7ページ) を切り取りもしくはコピーしたうえで記入し、必ず添付してください。
- (6) 作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票 (5ページ) をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。①作品の題名②氏名・性別③学校名・学年・組④学校の所在地 (郵便番号・電話番号) ⑤本人の住所 (郵便番号・電話番号) ⑥JA (農業協同組合) 名
- (7) 全国コンクールの大賞および全国農業協同組合中央会長賞受賞作品は平成26年2月に返却予定です。なお、作品の著作権は全国農業協同組合中央会および山形県農業協同組合中央会に帰属します。山形県コンクールの山形県知事賞および山形県農業協同組合中央会長賞受賞作品は、協同の杜「JA研修所」に1年展示後、平成27年2月上旬に返却予定です。
- (8) 本コンクールの作品応募に際して提供された個人情報は、承諾なく第三者に提供しません。ただし、入賞者については入賞発表や表彰式などのほか、広報媒体への露出や作品展示などの広報活動で公表する場合があります。

6. 締切日

平成25年9月30日(月) ※必着

7. 全国段階との関連

- (1) 県段階で予選審査を行い、各部門各部門ごとに数点を全国コンクールに推薦します。
- (2) 全国コンクール入賞作品以外 (優秀賞除く) の作品を対象に、山形県コンクール審査を行い、山形県段階の入賞作品を決定します。

8. 審査員

【全国コンクール】

- 審査委員長 中村 靖彦氏 (東京農業大学客員教授、農政ジャーナリスト)
- 作文部門 真鍋 和子氏 ((社)日本児童文学者協会理事、日本大学芸術学部講師)
森田 盛行氏 ((公社)全国学校図書館協議会理事長)
中川李枝子氏 (児童文学作家)
- 図画部門 ジャニー岩橋氏 (季風会同人、創造美術会同人)
小柳津須看枝氏 (日本美術家連盟会員、サロン・ド・トウキョー運営委員)
岡村 泰成氏 (美術家集団「Moss Spirits」代表、日本美術家連盟会員)

【山形県コンクール】

県教育庁および小・中学校教員 (作文部門6名、図画部門4名)

9. 賞

【全国コンクール】

- (1) 内閣総理大臣賞 作文・図画部門各1名 —— 計2名
賞状と副賞 (記念盾およびお米券、記念品)
- (2) 文部科学大臣賞 各部門各部門ごとに1名 —— 計6名
賞状と副賞 (お米券および記念品)
- (3) 農林水産大臣賞 各部門各部門ごとに1名 —— 計6名
賞状と副賞 (お米券および記念品)
- (4) 全国農業協同組合中央会会長賞 各部門各部門ごとに1名 —— 計6名
賞状と副賞 (お米券および記念品)
- (5) 優 秀 賞 各部門各部門ごとに15名 —— 計90名
賞状と副賞 (記念品)
- (6) 学 校 奨 励 賞 内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣
各賞受賞者所属校 —— 計14校
賞状

【山形県コンクール】

- (1) 山形県知事賞 各部門各部門ごとに1名 —— 計6名
賞状と副賞
- (2) 山形県農業協同組合中央会会長賞 各部門各部門ごとに1名 —— 計6名
賞状と副賞
- (3) 優 秀 賞 各部門各部門ごとに5名 —— 計30名
賞状と副賞
- (4) 学 校 奨 励 賞 各部門各部門ごとに1校 —— 計4校
賞状と副賞

10. 入賞発表・表彰式 (作文・図画両部門共通)

【全国コンクール】

- (1) 入賞発表 平成25年12月9日(月)
- (2) 表 彰 式 平成26年1月10日(金)
(入賞校、入賞者宛通知します。)

【山形県コンクール】

- (1) 入賞発表 平成26年1月下旬 (予定)
- (2) 表 彰 式 平成26年2月下旬 (予定)
(入賞校、入賞者宛通知します。)

11. 主 催

農業協同組合 / 都道府県農業協同組合中央会 / 全国農業協同組合中央会

12. 受付窓口および問合せ先

- (1) 県内の各JAを受付窓口とします。
- (2) 県段階は次にお問い合わせください。

〒990-0042
山形市七日町三丁目1番16号
山形県農業協同組合中央会 (JA山形中央会)
農業農政部「作文・図画コンクール係」
担当: 石塚 芦野 まで
TEL: 023-634-8114 FAX: 023-633-1754

